

3/7

(仮称)常陸大宮市道の駅の駅長が決定しました

◇駅長へ辞令を交付

市役所で辞令交付式が行われ、道の駅駅長（任期付職員）へ辞令が手渡されました。

採用された遠藤修平さんは、中小企業診断士の資格を持ち、流通業界の店舗開発、マーケティングやコンサルティング業務に携わってきました。

今回の駅長決定を受け、すでに前住所地の横浜市から常陸大宮市に移り住み、道の駅の開業準備や経営全般の業務にあたっています。また、民間企業で培った知識や経験を生かしながら、魅力ある道の駅づくり、シティセールスの拠点づくりに取り組んでいきます。



◇駅長からごあいさつ



来春の開業を目指す道の駅の運営管理に携わることになりました、遠藤修平と申します。

常陸大宮市民の皆さん、生産者や商工事業者、これまで整備事業に関わった多くの皆さんの大きな期待と、地域振興に寄せる熱い思いに身の引き締まる思いです。

私が思う「道の駅」とは、地域にある様々な問題や課題を解決していく「場」や「機能」のひとつと考えています。地域農業の振興に寄与できる農村ビジネスの芽を育てること、地域の持つ魅力や産品、技能、景観、文化などを分かりやすく伝えること、道の駅を訪れた人がその臨場感を満喫し、長く記憶に留めておいて

もらうこと、「お客様の声」に直接触れることと考えています。

今後は開業に向け、整備事業に関わる多くの方々からご指導ご助言をいただきながら、地域に根ざし、地元の皆さんが街のシンボルと思える地域密着型の道の駅づくりに取り組んでいきます。

道の駅に関するご意見等がございましたら、

市役所商工観光課 道の駅整備推進室 ☎52 - 1111（内線274、275、276）

までお寄せください。



いっしょにまちづくり



～「ひたち・おおみやげ」ができました～

私は和菓子店を営みながら、各団体に所属し活動しています。その中で、商店街の仲間達と進めている「ふろしきタウン ひたちおおみや」で、新しい市のお土産を作りました。市ならではのお土産があったらいいのに、との声にこたえ各商店の自慢の逸品を詰め合わせにし、地元で採れたものや、加工したものなど、地元こだわったものばかりです。名付けて「ひたち・おおみやげ」です。「お、お！土産！」と驚くほど素敵なもの、「大土産」りっぱなお土産、「大宮げ？」（なまって）大宮のものですか？ というシャレも入っています。

常陸大宮市が故郷の方々に、ふるさとを懐かしく思い、地元のものをお土産に持ち帰り、市を全国に知ってもらおう、という作戦です。もちろん、今お住まいの方々にも、地元自慢のお土産を味わってほしいと思っています。



和菓子店店主・中心商店街
活性化推進協議会副会長
砂川 繁 さん

3/6 福祉芸能発表大会を開催

毎年恒例の「福祉芸能発表大会」が、市文化センターで開催されました。日頃の活動の中で取り組んでいるもの、余暇活動として積み重ねてきたものなど、出演者は大きな舞台上で一生懸命演目を披露しました。

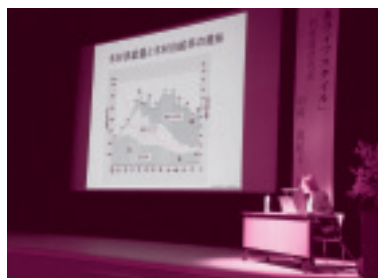
また会場と一体となつての歌などもあり、出演者も来場者も大会を楽しんでいました。



最後は恒例の抽選会で締めくくられ、今年も大変盛り上がった大会となりました。

3/7 エコライフフォーラム

緒川総合センターで、市環境市民会議主催の「エコライフフォーラム」が開催され、約230人が来場しました。会場にはエコ展示コーナーが設置され、緑のカーテンに取り組んだ事業所や個人宅の写真の展示、各団体の資源を活用した環境にやさしい取り組み等が紹介されました。



また、県環境アドバイザーの中村眞紀子さんを講師に迎え、「環境と共生するライフスタイル」と題した講演会が行われました。

3/15 女性が羽ばたくまちづくり —男女共同参画講演会—

光畑由佳さんを講師に招き、『無いなら創る私らしい「仕事」と「ライフスタイル」』と題した講演会を開催しました。これは、市が推進する男女共同参画社会の実現に向けた取り組みの一環として行われたものです。



光畑さんは、有限会社モーハウスを設立し、みんなで子育てする社会の実現に向けて活動を行っていて、この日は自分自身の子育てや起業など、実体験に基づいて語りました。

また子連れ出勤が当たり前となっている会社の様子など、興味深い話に来場者は熱心に耳を傾けていました。

3/6 市制施行・合併10周年 記念誌を発行

平成16年10月16日に5町村が合併してから、その10年間の歩みをまとめた記念誌を発行しました。表紙は、各地域の写真を市の鳥「かわせみ」の形に取り入れています。また、市の歴史や取り組みを写真つきで紹介しています。

この記念誌は、市内の班加入世帯に配布していて、ホームページでも閲覧することができます。

希望者には、本庁や各総合支所でも配布しています。詳しくは秘書広聴課まで。



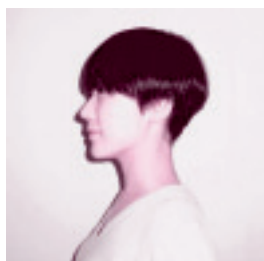
3/4 長嶋りかさんが「2014毎日デザイン賞」を受賞

常陸大宮大使でグラフィックデザイナーの長嶋りかさんの「潔いデザイン」が、2014毎日デザイン賞を受賞しました。

この賞は、グラフィックやインテリア、クラフトやファッションなど、あらゆるデザイン活動で年間を通じて優れた作品を制作・発表し、デザイン界に大きく寄与した団体や個人等へ贈られるものです。また日本のデザインの活性化とともに歩み続け、国際的、文化的な賞として高い評価を受けています。

今回、札幌国際芸術祭2014のグラフィックなどが評価され、栄えある受賞となりました。

長嶋さんは本市出身で、武蔵野美術大学を卒業後、博報堂を経てデザイン事務所「village®」を設立し、国内外で活躍しています。



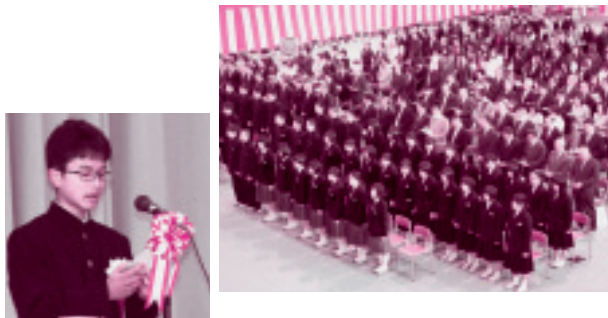
◀受賞した長嶋さんと受賞作品

3/22

美和中学校閉校式

昭和44年に創設された美和中学校は、生徒数592人でスタートし、それから46年、3,894人の卒業生を送り出し、平成26年度で閉校となりました。

閉校式では、市長式辞、学校長や来賓のあいさつの後、生徒会長の大瀧拓良さんが生徒を代表して別れの言葉を述べました。



その後、記念碑除幕式と記念式典が行われました。記念式典では、アトラクションとして県警音楽隊の演奏や、映像で振り返る美和中学校の歴史が上映され、最後に全校合唱で長い歴史に幕を閉じました。



▲記念碑「美和中生ここに学ぶ」の除幕式

3/22

緒川中学校閉校式

緒川中学校は、昭和46年に小瀬中学校と八里中学校が統合して開校し、その間3,200人を超える生徒が巣立ちました。

閉校式では、在校生や卒業生、先生OBや地域の皆さんが参加し、生徒会長の笠井守さんが代表して別れの言葉を述べました。



その後、校庭で記念碑除幕式が行われ、記念式典では、水戸二高コーラス部が合唱を披露しました。またスライドで学校の歩みを振り返り、44年の歴史に思いをはせました。



▲水戸二高コーラス部と生徒たちの合同合唱

4/7

明峰中学校が開校しました

平成27年度から美和中学校と緒川中学校が統合して、明峰中学校として生まれ変わりました。

開校式では、新しい校章や校歌が披露され、統合に尽力された方などへ感謝状が贈られました。また常陸大宮大使で切り絵作家の富山明峰さんから、開校記念の作品「明峰丸大海原へ」の寄贈がありました。



▲新しい校旗と富山明峰さんの切り絵作品



二つの中学校の伝統を引き継いだ明峰中学校は、「郷土を愛し 共に磨き 未来を拓く」と校訓も新たに、45人の新入生を迎えました。入学式では、新入生を代表して内田愛梨さんが誓いの言葉を述べました。



▲入学式の様子

3/8

第10回常陸大宮市まちづくりネットワーク大会開催

市と茨城大学の地域連携事業である「まちづくりネットワーク大会」が開催され、地域活動に取り組む団体や個人、関心のある市民、茨城大学の教員や学生等80人が参加しました。

初めに「市の食を味わう」として、そば、あゆ、シイタケを使った、「にしんそば」ならぬ「あゆそば」を堪能しました。

また会場には、各団体の活動を紹介するパネルのほか、郷育立市事業の一環として取り組んだ「お宝発見事業」の小学生の作品や、大宮中学校の1年生が総合的な学習の時間に学んだ「常陸大宮市の魅力づくり」の作品展示が行われました。



【第1部】「常陸大宮市の食」について語り合おう

市の特産品であるそば、あゆ、シイタケの話から始まり、今後の「食」によるまちづくりについて、意見交換が行われました。

また、茨城大学人文学部の星野さんが来場者にインタビューをし、市のおいしい食べものや伝統料理などについて報告をしました。



【第2部】2014年度の活動報告

団体、個人から「ウダーベ音楽祭」、「常陸大宮の魅力いっぱいツアー」の報告がありました。

特にウダーベ音楽祭は、38校の校歌がリレーでつながり、市制施行10周年を市民主体による手づくりのイベントで祝い、地域が一体となって取り組むことができました。

【第3部】2015年度の主な活動予定

- ・川原の音楽会2015(家和楽地内 久慈川河川敷)
- ・鷲子山上神社祭礼への協力
- ・第2回ウダーベ音楽祭
- ・常陸大宮の魅力いっぱいツアー

3/12

車いすバスケット講演会 ～連携型中高一貫交流～

中高一貫連携授業として、水戸市出身で車いすバスケットプレイヤーの齋藤信之さんを招いて、小瀬高等学校で講演会を行いました。

齋藤さんは、高校3年生の時に交通事故で脊髄を損傷し車いす生活となり、その後、福祉先進国であるアメリカへ、同じような障害を持つ日本人で初の単身渡米を果たしました。現在は、自ら設立した車いすバスケット団体「スピニング・フープス・レボリューション」の代表を務めています。

講演会は、中高生5人との対談形式で進められ、生徒からの様々な質問に答えました。



▲齋藤さんを囲んでの対談の様子

講演後の生徒たちからは、「自分たちの頑張りが甘かったことを痛感した」、「ポジティブに考える齋藤さんの生き方に驚かされた」、「これからいろんな事にチャレンジしたい」といった前向きな意見がありました。

その後、常磐大学生の協力のもと生徒が車いすバスケットを体験しました。生徒たちは車いすの操作に四苦八苦しながら、一生懸命ボールを追っていました。

障害を持ちながらも、信念を持って生きる齋藤さんの姿に生徒たちは心を動かされ、たくさんの勇気をもらった様子でした。



▲車椅子バスケットに挑戦

3/16 市の無形民俗文化財を新たに指定

市では、「西金砂神社小祭礼における諸沢の祭礼習俗」を無形民俗文化財に指定しました。

この祭礼を支える氏子の中で、諸沢は最も世帯数が多い地区ですが、神輿の行列の進路から外れているために、小祭礼や72年に一度の大祭礼においても、残念ながらあまり注目されません。しかし、祭礼組織やその活動、代々伝わる「警固」と呼ばれる家々の存在と役割、西金砂神社境内で行われる花纏の繰込みや諸沢地内での行事は、小祭礼の古い習俗をよく残しています。

6年後の記念すべき第200回小祭礼はもちろんのこと、私たちが誇る伝統文化として、未来へしっかりと伝えていく必要があります。

3/28 諸沢で舞を奉納（西金砂神社小祭礼）

諸沢地区で小祭礼が行われ、舞踊家で常陸大宮大使の堀馨予さんらによる奉納舞が披露されました。堀さんは、市内の神社で舞を奉納したり舞踏を制作したりするなど、地域と一体となった活動を行っています。



この日は春らしい気持ちのよい天気で、見物に訪れた人たちは、伝統ある行事に興味深く見入っていました。

4/1 緒川歯科診療所に新しい先生

緒川歯科診療所で昭和62年から約28年間、歯科医師として勤務された兼子研一先生が退職し、4月から任期付職員として飯塚知明先生が歯科治療を行っています。

飯塚先生は埼玉県秩父市の出身で、今年の3月まで明海大学で歯学部助教や歯科医師臨床研修指導医として勤め、さらに大学病院で歯科治療に携わってきました。



これまでの経験をいかし、歯科治療をとおして、緒川地域をはじめ市民の皆さんの健康の維持・向上に取り組めます。

4/1 市の活性化に期待

国は地方創生の目玉のひとつとして「地方創生人材支援制度」を新たに設立し、常陸大宮市では、創生特別顧問に茨城大学の西野由希子教授が就任しました。全国38都道府県の69市町村が活用する予定で、県内では本市と高萩市、桜川市にそれぞれ派遣されています。



西野先生は、これまでも市の「まちづくりネットワーク」などの事業を推進されていて、今回就任したことにより、各分野の連携強化や個性的なまちづくりの創生へ期待が高まっています。

3/31 学力向上推進プロジェクトで表彰

美和中学校が、県の事業である「平成26年度学力向上推進プロジェクト事業」に係る授業力ブラッシュアップ研修協力校として、生徒の学力向上に向けた効果的な国語科の指導法について研究を行いました。



その研究の成果を広く普及したことに対し、県教育長から表彰されました。

授業発表会では、市内外から多くの教員が参加して、文学的文章の理解を深めるための指導の工夫について、授業公開及び研究協議を行いました。

3/31 いばらき理科教育推進事業で表彰

緒川小学校が、県の事業である「いばらき理科教育推進事業」の小学校教科担任制モデル事業のモデル校として、平成24年度から3年間にわたり実施し、県教育長から表彰されました。

この事業では、高学年の理科の授業で教科担任制を取り入れ、専門の教員が授業を行い児童の学習意欲を高めるとともに、教員間でも積極的に授業の研修を行い、指導力向上を図りました。



第6回「常陸大宮市のお宝発見事業」を、御前山青少年旅行村で実施しました。今年度最終回となる今回は27人が参加し、こんにゃく作りと1年間のまとめを行いました。

初めは、粉からのこんにゃく作りです。お湯にこんにゃく粉を入れ、慎重にかき混ぜた後、アクを加えて固めました。それを各自好きな形に切り、20分ほど煮てアク抜きをして完成しました。



▲べとべとのこんにゃくに悪戦苦闘



▲講師の話に興味津々



▲みんなで話し合って一年の活動をまとめました

また、講師からこんにゃくの歴史や、本市出身の中島藤衛門が粉こんにゃくを作ったことで保存や運搬が便利になったことなどの説明を聞きました。

午後は、それぞれがこれまでの体験で学んだことや感じたことをまとめ、最後に一人ひとり修了証を受け取りました。

今回で事業は終了となりましたが、参加した子どもたちは、様々な体験をとおしてふるさと常陸大宮市について理解と愛着を深めることができました。

市議会臨時会及び定例会

2/12

平成27年第1回市議会臨時会が開会されました。この臨時会では、次の議案（市長提出議案）が審議され、可決されました。 ○工事請負変更契約の締結について

2/26
~3/20

平成27年第1回市議会定例会が開会されました。この定例会では、次の議案（市長提出議案）が審議され、それぞれ可決及び同意されました。

条 例

- 常陸大宮市教育長の勤務時間及びその他の勤務条件に関する条例
- 常陸大宮市教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例
- 常陸大宮市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例
- 常陸大宮市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例
- 常陸大宮市立幼稚園保育料徴収条例
- 常陸大宮市立保育所の設置及び管理に関する条例
- 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
- 常陸大宮市行政手続条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市職員定数条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
- 常陸大宮市手数料徴収条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例

条 例

- 常陸大宮市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市公営墓地条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市介護保険条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市出産祝い金支給条例の一部を改正する条例

平成 27 年度予算

- 常陸大宮市一般会計予算・特別会計（10会計）予算・上水道事業会計予算

平成 26 年度補正予算

- 常陸大宮市一般会計補正予算・特別会計（9会計）補正予算・上水道事業会計補正予算

人 事

- 副市長の選任について 綿引 義久

そ の 他

- 新市まちづくり計画の一部変更について
- 市道路線の変更について

4/12

30年ぶりに大相撲を開催 ー常陸大宮場所ー

大相撲常陸大宮場所が西部総合公園体育館で開催され、市内外から約3,300人が来場しました。朝8時の開場前からたくさんの人が列をつくり、期待の高さがうかがえました。

この日は、髪結いや横綱綱締めの実演のほか、初切や相撲甚句など本場所では見られない出し物がありました。

また、稀勢の里対琴奨菊、白鵬対日馬富士など人気力士同士の取り組みがあり、力士を応援する声援やかけ声に会場は大いに盛り上がりました。本場所に負けない気迫あふれるぶつかり合いや突っ張りが繰り出されると、満員の会場からは大きな拍手が送られました。当日の様子を写真で紹介します。



スポーツ大会結果

第42回那珂地区剣道錬成大会

開催日：3月22日
主 催：那珂地区剣道連盟
会 場：西部総合公園体育館
参加数：60団体

	優 勝	準 優 勝	第 3 位	
小学校低学年の部	上野剣道クラブ	那珂地区合同	御城館B	横堀剣道B
小学校高学年の部	上野剣道クラブA	上野剣道クラブB	大宮尚武館	芳野剣心会
中 学 生 の 部	横堀剣道	大宮中A	那珂三中A	第二中A
高 校 ・ 一 般 の 部	戸多剣友会C	戸多剣友会A	戸多剣友会B	白雲会